

砂防関係施設長寿命化対策事業費

事業評価個票（事業実施：平成30年度）				部局名	県土整備部			
短期アクションプラン	テーマ	テーマ7 地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成						
	施策	施策4 県民の生活を支える社会資本の整備・機能強化						
	目的	防災・減災への対応や地域交通ネットワークの形成など、社会基盤を整備・充実するとともに、効果的・効率的に維持管理・運用し、将来にわたり暮らしを守り支える機能を確保する。						
	目標指標(R2)	-						
	策定時の実績	-	現状	-	主要事業	社会資本の機能の維持管理・向上		
事業名	砂防関係施設長寿命化対策事業費		担当課・担当	砂防・災害対策課 砂防事業担当				
事業開始年度	平成24年度		事業終了(予定)年度	未設定				
事業の目的 (目指す姿を3行程度で簡潔に)	老朽化又は劣化した砂防えん堤等の砂防関係施設について、補修・更新による長寿命化を図るもの。							
事業概要 (5行程度で簡潔に)	機能低下した砂防関係施設(砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設)について、計画的な補修・更新など機能向上を図る工事を実施するもの。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 上記実施方法とする理由：砂防関係施設の機能向上を図る工事を実施するため							
予算額・決算額 (単位:千円)	費目(予算見積書のグループ名)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	総合流域防災事業(防災・安全)	122,789	165,000					
	単独(砂防)	41,400	49,500					
	単独(地すべり)	20,000	20,000					
	単独(急傾斜地)	5,100	20,000					
	砂防関係施設調査事業費	157,536	30,000					
	砂防関係施設長寿命化対策事業事務費	13,800	9,700					
	計	360,625	294,200	0	0	0		
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	138,268	96,250					
	繰入金							
	その他特定財源	221,889	187,100					
	一般財源	468	10,850					
	計	360,625	294,200	0	0	0		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	砂防関係長寿命化対策事業実施箇所数(単年度)	活動実績		12	13			
		当初見込み	施設	12	11	未定	未定	-
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標 (所管部局の分析)		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	長寿命化計画に基づいた効果的・効果的な砂防施設の改築数(累計)	成果実績		49	51			
		目標値	施設	49	52	56	60	-
		達成度	%	100%	98%			
関連事業								

事業目標の考え方(事業目標設定時)

砂防関係施設は突発的に発生する土砂災害から住民の生命等を保全するため重要な施設であり、災害時に十分な効果を発揮するには適切な維持管理が必要とされるが、砂防関係施設の経年劣化や過去の土砂移動によって損傷した施設が見受けられる。
 損傷した砂防関係施設をそのまま放置すれば豪雨や地震等の災害発生で損傷がさらに進み、機能の低下または喪失を招く恐れがあることから(平成20年7月には石川県において老朽化した砂防えん堤が豪雨により全壊し、土砂流出被害が発生している。)、計画的に維持修繕または更新を行うことで施設の延命化(長寿命化)を図る必要がある。
 平成24年3月に当課が策定した「砂防関係施設機能保全計画」では、施設調査の結果、損傷が著しい施設や要配慮者利用施設等の重要な保全対象が含まれる施設など、優先順位の高い施設から順次、改築・補強工事を実施することとしており、平成28年度末時点で判明している最も損傷度ランクの高い190施設を計画的に修繕または更新することとしている。

事業所管部局による評価・検証

	項目	評価	評価に関する説明
事業目標の妥当性・達成度	事業の目的は県民や社会のニーズを的確に反映しているか。	A	長寿命化対策を実施することで施設の健全度を保つ事業である。 本事業により土砂災害から人命や施設を保全し、地域の安全・安心に寄与する。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	A	
	目標水準は妥当か。	A	
	期待する成果が得られたか。	B	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	B	
事業内容の妥当性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	A	土砂災害から人家等を保全するためには、砂防えん堤等の砂防関係施設が最も確実であることから、最善の方法である。
	支出先の選定は妥当か。	A	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	A	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	A	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	A	
	類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A	
の役割分担	市町村、民間等に委ねることができない事業なのか。	A	砂防関係施設の管理は砂防法第5条等により都道府県の役割である。
今後改善の課題	早期の事業効果の発現により、県民の生命・財産を守るため、迅速な事業進捗を目指していく。		

- ・事業所管部局による評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選ぶこと。
- A: 目標を上回って達成する見込み。期待通りの成果(100%以上)。妥当。
- B: 目標を概ね達成する見込み。概ね期待通りの成果(80~99%)。概ね妥当。
- C: 改善の余地あり。期待した成果を下回っている(79%以下)。
- ー: 該当しない